

平成18年度事業報告

基本方針

- 1 長年培った選手育成のノウハウを活かし、さらなる競技力向上を図り世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。
- 2 県民が健康で活力ある生活を築くため、さらなる県民スポーツの振興を図り、生涯スポーツ社会の実現を目指す。

Ⅰ スポーツ振興事業

目 標：あらゆるスポーツへの欲求に応える能力を備え、スポーツの長所を生かし健康で明るく豊かな地域社会の実現を目指す。

1 総合型地域スポーツクラブの育成推進

(1) 埼玉県教育委員会及び埼玉県広域スポーツセンター（通称：ふぁいぶる）と連携して彩の国スポーツプラン2010に沿ったスポーツの振興を図る。

ア 総合型地域スポーツクラブ育成委員会の開催

平成19年1月19日（金） 県立スポーツ研修センター

イ クラブ育成アドバイザーの配置(2名)

ウ 埼玉県クラブマネージャー研修会の開催（兼育成指定クラブ研修会）

第一回 平成18年4月2日（日） 県立スポーツ研修センター

第二回 平成18年10月14日（土） 県立スポーツ研修センター

第三回 平成19年2月8日（木） ソニックシティ

エ 総合型地域スポーツクラブ啓発研修会等へのアドバイザー派遣。

（延べ46回）

オ 育成指定クラブ連絡協議会の開催（研修会と並行実施）

カ 育成指定クラブに対する現地ヒアリング（延べ34回）

キ 総合型地域スポーツクラブ設立に向けた普及・啓発活動

- ・ホームページに活動報告等掲載。

ク 総合型地域スポーツ関連の日本体育協会開催会議、研修会への派遣

ケ 委託事業後の育成指定クラブの現状視察や情報提供活動

《継続クラブ》

- ・見沼スポーツクラブ設立準備委員会（さいたま市見沼区）

- ・リリー・アスレチック・クラブ（川口市）

- ・上尾東スポーツクラブ（上尾市）

- ・鴻巣ブレス総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会（鴻巣市）

- ・笠原総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会（鴻巣市）

- ・熊谷リリース・ふぁいぶるクラブ（熊谷市）

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

- ・ピースふぁいぶるクラブ（熊谷市）
- ・クラブ幸手設立準備委員会（幸手市）
- ・北川辺町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会（北川辺町）
《新規クラブ》
- ・どりーむらいふ（川口市：旧川口戸塚総合型スポーツクラブ設立準備委員会）
- ・ふぁいぶる鶴ヶ島（鶴ヶ島市）
- ・ジュベニールF（白岡町）

成 果：継続9クラブは自助努力による運営が可能となり、平成19年度には総合型地域スポーツクラブとして設立される。また、新規3クラブについても概ね組織化が完了し、自主運営が見込める。

2 生涯スポーツ地域振興助成事業の実施

(1) 13市町村 18事業

成 果：2市町村以上の団体の交流を行い、広域地区のスポーツ振興と地域文化の発展が図れた。

3 公認スポーツ指導者養成講習会・研修会の開催

(1) 日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会の開催

ア	バレーボール	54名	平成18年10月14日～12月10日：5日間
イ	バスケットボール	20名	平成18年9月9日～11月23日：16日間
ウ	ソフトテニス	21名	平成18年10月14日～12月3日：7日間
エ	ソフトボール	44名	平成18年11月26日～12月24日：5日間
オ	空手道	13名	平成18年8月13日～12月24日：6日間
カ	ゲートボール	38名	平成18年9月13日～12月6日：8日間

平成18年度受講者数 190名

(2) 日本体育協会公認スポーツ指導者埼玉県登録者数 5591名（3月末日現在）

ア 競技別指導者資格

・	スポーツ指導員	2759名	・	上級スポーツ指導員	1032名
・	コーチ	453名	・	上級コーチ	199名
・	教師	242名	・	上級教師	105名

イ フィットネス資格

・	ジュニアスポーツ指導員	216名	・	スポーツプログラマー	310名
・	フィットネストレーナー	71名			

ウ メディカル・コンディショニング資格

・	スポーツドクター	94名	・	アスレティックトレーナー	69名
---	----------	-----	---	--------------	-----

エ マネジメント指導者資格

・	アシスタントマネジャー	27名	・	クラブマネジャー	2名
---	-------------	-----	---	----------	----

オ 旧資格

・	スポーツトレーナー2級	5名	・	スポーツトレーナー1級	4名
---	-------------	----	---	-------------	----

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

(3) 埼玉県スポーツ指導者研修会

期 日：平成19年2月3日(土)・4日(日)

会 場：国立女性教育会館 参加者：公認指導者380名・競技団体60名

内 容：第1日目

講演『今、望まれるスポーツ』 宮嶋 泰子 氏

講演『日本バレーボール復活に向けて』 荻原 秀雄 氏

埼玉県スポーツ科学委員会シンポジウム

『トップアスリートへの道』 阿部 秀夫 氏

第2日目：埼玉県スポーツ科学委員会パネルディスカッション

『総合型地域スポーツクラブを具体的に理解しよう！パート3』

司 会 宮内 孝知 氏(早稲田大学教授)

パネリスト 山本 和江 氏(特)スポーツ・サンクチュアリ・川口)

パネリスト 川島 克夫 氏(特)ふあいふる白鶴)

パネリスト 林 隆弘 氏(広域スポーツセンター専任指導員)

パネリスト 加藤 裕之 氏(クラブ育成アドバイザー)

成 果：公認スポーツ指導者及び競技団体強化担当指導者の資質の向上と活動の促進が図れ、かつ、今後あらゆるスポーツ活動で中心的役割を担う公認スポーツ指導者の総合型地域スポーツクラブにおける役割について理解が深められた。

※ 本事業は公認スポーツ指導者制度の基づいた義務研修。

4 平成18年度第19回県民総合体育大会の開催

大 会 ◎ 競 技 部 門 241大会

(本会加盟競技団体大会 144) (県高等学校体育連盟大会 47)

(県中学校体育連盟大会 19) (県高等学校野球連盟大会 2)

(県スポーツ少年団大会 20) (養護学校体育大会 20)

(ふれあいピック等 3) (障害者スポーツ大会 3)

◎ コミュニティ部門 135大会

◎ レクリエーション部門 153大会

(県レク協加盟団体大会 30) (県小体連地区スポーツ大会 123)

◎ スポーツフェスティバル 1大会 ◎総計530大会

成 果：埼玉県スポーツ振興計画「彩の国スポーツプラン 2010」のキーワード、『する』『みる』『きわめる』『まなぶ』『ささえる』を実践し、多くの県民に体感することが出来た。

5 埼玉駅伝競走大会の開催

期 日：平成19年1月18日(日) 会 場：上尾運動公園陸上競技場他

参加チーム及び区間

1部 一般男子 15チーム (寄居-上尾 6区 50.9km)

2部 市町村男子 21チーム (川本-上尾 6区 41.7km)

3部 高校男子 35チーム (川本-上尾 6区 41.7km)

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

4部 高校・一般女子 18チーム (吹上-上尾 5区 22.8km)
成績

1部 一般男子	ボッシュ	(2° 33' 48")
2部 市町村男子	横瀬陸上競技協会	(2° 10' 07")
3部 高校男子	埼玉栄高等学校	(2° 04' 35")
4部 高校・一般女子	熊谷女子高等学校	(1° 16' 55")

成果：駅伝競走大会を通じて、互いに協力し最後まで成し遂げることにより、達成感や充実感を体感するとともに連帯感を醸成し、最後までやり抜く事の大切さを学んだ。

6 スポーツ活動の支援事業の充実 (免税募金活動交付金)

免税募金活動交付団体	募金額
1 埼玉県アマチュアボクシング連盟	150,000円
2 埼玉県バドミントン協会	100,000円

成果：免税募金事業を活用し、加盟団体の自主財源の確保と健全な運営が図れた。

7 加盟団体運営補助事業の実施

- (1) 加盟競技団体運営補助事業
- (2) 郡市体育協会運営補助事業

II 競技力向上事業

目標：彩の国まごころ国体で培った競技力を活かし、次代を担う彩の国アスリート並びに世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。

第61回国民体育大会成績

期日：冬季大会 (スケート・アイスホッケー)
平成18年1月28日(土)～2月1日(水) 北海道苫小牧市
(スキー)
平成18年2月19日(日)～22日(水) 群馬県片品村
本大会 (陸上競技含む37競技)
平成18年9月30日(土)～10月10日(火) 兵庫県神戸市他

成績：天皇杯 第2位 2084.0点 ◎競技別天皇杯獲得団体 6競技団体
皇后杯 第2位 945.0点 ◎競技別皇后杯獲得団体 1競技団体

※獲得競技団体名は顕彰事業に掲載

本県選手団の活躍により上記の成績を修めることが出来た。国民体育大会をはじめ各種競技大会での本県選手の活躍を期するため下記の強化事業を実施した。

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

1 彩の国アスリート育成強化事業

成 果：より厳しい環境を求め、国内における遠征試合及び遠征による強化練習会による強化が図れた。

2 スポーツ環境整備事業

(1) 冬季競技重点施策（強化訓練補助事業）

成 果：強化訓練会場（施設）の無い冬季競技に対し、強化訓練に不可欠なスポーツ活動の会場を確保し強化が図れた。

(2) 平成 20 年開催の「彩夏到来 08 埼玉総体」に向け競技用具の整備。

3 支援スタッフサポート事業

(1) 医学サポートスタッフ派遣補助事業【スポーツ科学委員会共同事業】

ア スポーツドクター・トレーナー派遣

12 競技 15 名（本大会 12 競技 15 名）

(2) 競技別役員・コーチの派遣

ア 会長指名派遣 17 競技 17 名（本大会 16 競技 16 名・冬季 1 競技 1 名）

イ 支援スタッフ派遣 28 競技 28 名（本大会 28 競技 28 名・冬季なし）

成 果：現場におけるドーピング対策や応急処置のほか、選手が安心して競技に挑む環境を整えることが出来た。

4 競技団体指定クラブ強化事業

(1) 競技団体推薦指定クラブ 24 競技 53 クラブ

・陸上 1 ・水泳 11 ・サッカー 3 ・テニス 2 ・ボート 1 ・ホッケー 5 ・ボクシング 1 ・バレーボール 2 ・体操競技 1 ・バスケットボール 1 ・ハンドボール 1 ・ソフトテニス 1 ・野球 3 ・馬術 8 ・フェンシング 1 ・柔道 1 ・ソフトボール 1 ・バドミントン 1 ・ラグビーフットボール 1 ・山岳 2 ・カヌー 1 ・アーチェリー 1 ・スケート 1 ・スキー 3

成 果：競技団体と選手が所属するクラブとの連携・強化が図れた。

5 期別強化訓練事業（冬季競技を除く）

(1) 第 1 期強化事業の実施（4 月～9 月）

成 果：競技力の向上とスポーツマンシップの下に、フェアプレー精神の高揚を図り埼玉県を代表するに相応しい選手の育成・強化が図れた。

(2) 第 2 期強化事業の実施（10 月～3 月）

成 果：本大会で達成できなかった課題を精査し、第 6 2 回国民体育大に向けて新たな戦力（選手）の発掘と育成をしながら本県選手団の成熟が図れた。

6 中・高体連育成強化事業の実施

(1) 中・高体連育成強化事業中

成 果：中高校一貫指導により有望選手の早期発掘と県内定着を図り、世界に羽ばた

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

く彩の国アスリートの登竜門である、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会での活躍により、世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成した。

ア 全国高等学校総合体育大会成績

◎ 団体	優勝	準優勝	3・4位	ベスト8	合計
男子	4団体	2団体	2団体	6団体	14団体
女子	1団体	1団体	0団体	4団体	6団体
◎ 個人	優勝	準優勝	3・4位	ベスト8	合計
男子	12名	8名	14名	21名	55名
女子	7名	8名	9名	16名	40名

イ 全国中学校体育大会成績

◎ 団体	優勝	準優勝	3・4位	ベスト8	合計
男子	1団体	0団体	0団体	4団体	5団体
女子	0団体	1団体	1団体	3団体	5団体
◎ 個人	優勝	準優勝	3・4位	ベスト8	合計
男子	0名	4名	8名	10名	22名
女子	1名	6名	8名	14名	29名

(2) 『彩夏到来 08 埼玉総体』選手育成強化事業

ア 平成 20 年度に本県で開催される全国高等学校総合体育大会（愛称：彩夏到来 08 埼玉総体）での本県選手団の活躍を期するため、当該年度の出場対象学年を育成・強化が図れた。

イ 彩夏到来 08 埼玉総体の成功を期するため、啓発及び選手団の育成・強化のための組織整備が推進できた。

7 ジュニア育成補助事業（事業選択性）

- (1) 指導者配置事業の実施
- (2) トレーニングセンターの実施
- (3) 競技大会及び交流大会の開催

成果：事業選択性の導入により、競技団体にあった次代の選手の発掘・育成が出来た。

8 指導者養成・資質向上事業（事業選択性）

- (1) 養成講習会・研修会派遣
- (2) 競技力分析・調査派遣
- (3) 研修会の開催

成果：選手育成・強化に不可欠な指導者の資質向上が出来た。

9 埼玉県強化コーチ研修会兼国民体育大会必勝対策会議

- (1) 埼玉県コーチ研修会

期 日：平成 18 年 7 月 6 日（水） 会 場：県立スポーツ研修センター

参加者：競技団体関係者 120 名

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

内 容：講演『我が国の国際競技力向上への取り組み』 笠原 一也 氏
研修『指導者と選手におけるヒューマンレーションと
体力・競技力について』 高野 庸夫 氏
研修『ドーピング研修会』 小林 正幸 氏

(2) 国民体育大会必勝対策会議

内 容・第 61 回国民体育大会関東ブロック大会突破の見通しと本大会での入賞予想。
・各競技団体の戦力状況と強化策。

分科会・第 61 回国民体育大会『のじぎく兵庫国体』及び関東ブロック大会に向けた各種別の戦力予想。

・兵庫県をはじめとするライバル都道府県の戦力分析及び情報交換。

・インターネット申し込み ・ドーピング対策 ・ふるさと選手制度 他

成 果：日本国におけるスポーツの中心部における競技力向上への取り組みが大変参考となったほか、選手と指導者の関わりやドーピング対策等について大いに役立った。また、必勝対策会議では、本県選手団の団結が得られ必勝対策が確立した。

10 競技団体長・支援企業等協議会

期 日：平成 19 年 1 月 15 (月) 会 場：浦和東武ホテル

参加者：支援企業 20 社 22 名、競技団体及び本会役員 44 名

成 果：本県のスポーツの振興とりわけ競技力の向上を支える支援企業と競技団体関係者を一堂に会し、より一層の相互理解と協調・協力体制が図れた。

11 埼玉県スポーツ指導者研修会 (I スポーツ振興事業－3－(3) 共同事業)

12 国際競技派遣事業

(1) 国際競技大会派遣【12 競技 68 名】

・陸上競技 3 名・水泳 11 名・ホッケー 5 名・ボクシング 1 名・レスリング 6 名

・ウェイトリフティング 3 名・フェンシング 2 名・ライフル射撃 14 名

・剣道 1 名・カヌー 4 名・アイスホッケー 3 名・近代五種 15 名

III スポーツ少年団事業

目標：スポーツを通して、次代を担う青少年の健全育成を図るとともに、それらを育む指導者の養成と資質の向上を図る。

1 埼玉県スポーツ少年団大会の開催

(1) 埼玉県スポーツ少年団種目別大会の開催 (12 種目)

ア) 軟式野球

第 25 回夏季小学生軟式野球交流大会

期日：平成 18 年 6 月 18 日 (日) ・ 25 日 (日) ・ 7 月 1 日 (土)

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

会場：神川町営グラウンド

第31回小学生軟式野球交流大会

期日：平成18年10月22日（日）・29日（日）・11月3日（金：祝）

会場：吉見総合運動公園他

第29回中学生軟式野球交流大会

期日：平成18年8月5日（土）・6日（日）・12日（土）

会場：春日部市牛島球場他

イ) サッカー

第35回埼玉県サッカー少年団大会

期日：平成18年11月12日（日）・19日（日）・25日（土）

会場：埼玉スタジアム2002

ウ) バスケットボール

第25回ミニバスケットボール交流大会

期日：平成18年7月1日（土）・2日（日）

会場：深谷ビクタートル・本庄市児玉総合体育館

第7回ジュニアリーダーバスケットボール大会

期日：平成18年8月13日（日） 会場：さいたま市記念総合体育館

エ) バレーボール

第4回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会埼玉県決勝大会

期日：平成19年1月13日（土）・14日（日）

会場：さいたま市槻の森スポーツセンター

第25回関東ブロックスポーツ少年団バレーボール大会埼玉県大会決勝

期日：平成18年7月2日（日）・8日（土）

会場：熊谷ドーム・所沢市民体育館

第1回埼玉県スポーツ少年団キッズ大会

期日：平成18年8月6日（日） 会場：熊谷ドーム

オ) 剣道

第30回埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会

期日：平成18年8月27日（日） 会場：戸田市スポーツセンター

第29回全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会

期日：平成18年12月10日（日） 会場：熊谷ドーム

カ) ソフトボール

第29回ソフトボール中央大会

期日：平成18年8月26日（土）・27日（日）

会場：さいたま市荒川総合運動公園

キ) 空手道

第22回空手道交流大会

期日：平成18年9月3日（日） 会場：北本市体育センター

ク) 柔道

第28回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

期日：平成18年8月27日（日） 会場：埼玉県立武道館

ケ) バドミントン

第25回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会（団体戦）

期日：平成18年12月2日（土） 会場：久喜市体育館

第13回埼玉県スポーツ少年団バドミントン（ダブルス）大会

期日：平成19年3月3日（土） 会場：蓮田市総合体育館

コ) ソフトテニス

第27回埼玉県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会

小学生 期日：平成18年8月20日（日） 会場：熊谷ドーム多目的運動場

中学生 期日：平成18年8月26日（火） 会場：熊谷市運動公園テニスコート

サ) 複 合

第26回複合種目大会

期日：平成18年9月2日（土）～3日（日） 会場：飯能市上名栗キャンプ場

シ) 駅 伝

期日：平成19年2月11日（日：祝） 会場：朝霞市陸上競技場

成 果：日頃の団活動の成果と各地域・団員等の交流を体験することが出来た。

(2) 第39回埼玉県スポーツ少年団大会

期 日：平成18年8月10日（木）～12日（土）

会 場：県立名栗げんきプラザ 参加者：73名（7市1町）

成 果：2泊3日の野外活動を通じて、団員の相互の交流と親睦・協調と協力が図られ、合わせて次代を担うリーダーの育成が図れた。

2 日独同時交流派遣および受入事業（第33回日独スポーツ少年団同時交流）

(1) 派 遣 7月20日（木）～8月11日（金）

ドイツ連邦共和国 指導者 1名・団員 3名

(2) 受 入 7月21日（金）～7月31日（月）（10泊11日） 所沢市

3 指導者養成・研修事業

(1) 認定育成員研修会

期 日：関東ブロック 平成18年12月2日（土）～3日（日）

場 所：東京 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者：31名（関東：28名・北海道：1名・九州2名）

(2) 認定員養成講習会

期 日：①平成18年10月28日（土）・29日（日）

②平成18年12月16日（土）・17日（日）

会 場：埼玉県立スポーツ研修センター

認定者：201名 補助事業：市町村14コース

(3) 埼玉県スポーツ少年団育成員研修会

期 日：平成18年6月17日（土） 会 場：麗和会館（県立浦和高校内）

参加者：83名

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

- (4) 公認体力テスト判定員養成講習会
期 日：平成18年8月19日(土) 会 場：埼玉県立スポーツ研修センター
参加者：92名(認定者92名)
- (5) 埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会
期 日：平成19年1月27日(土)～28日(日) 会 場：栃木県 鬼怒川
参加者：268名
成 果：種目別大会の今後の運営方法について協議するとともに、相互の情報交換と情報提供を行い、指導者間の連携強化と意志の疎通が図れた。
- (6) 研究大会等派遣
第11回スポーツ少年団指導者全国研究大会
期 日：平成18年6月25日(日) 会 場：東京都「ホテルグランドパレス」
参加者：55名
- (7) 認定員研修会(市町村7コース補助)
- (8) 母集団研修会(市町村17コース補助)

4 リーダー養成・研修事業

- (1) シニア・リーダースクール派遣
期 日：平成18年8月10日(木)～14日(月) (4泊5日)
会 場：静岡県 国立中央青年交流の家 参加者：5名
- (2) ジュニア・リーダースクールの開講
期 日：前期 平成18年8月18日(金)～20日(日)
後期 平成18年12月25日(月)～26日(火)
会 場：県立スポーツ研修センター
参加者：47名(10市1町) (40名認定)
補助事業：7事業(小学生を対象とした将来のジュニア・リーダーの養成)
- (3) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会派遣(9月：東京都)
期 日：平成18年9月2日(土)～3日(日)
会 場：東京 国立オリンピック記念青少年総合センター
参加者：指導者1名・リーダー1名
- (4) 関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会派遣
期 日：平成18年10月7日(土)～8日(日)
会 場：千葉県 千葉県総合スポーツセンター
参加者：指導者1名・リーダー4名
- (5) 埼玉県スポーツ少年団リーダー会の育成

5 地域交流補助事業

- (1) 市町村 49事業
成 果：スポーツ少年団活動の活性化と2市町村のスポーツ少年団以上での地域交流の促進が図れた。

6 国内交流大会派遣事業

- (1) 全国スポーツ少年団大会 (リーダーズアクション 2006)
期 日：平成 18 年 7 月 29 日 (土) ～8 月 1 日 (火)
会 場：山形県 鶴岡市小真木原公園 他
参加者：指導者 1 名・団員 8 名
- (2) 関東ブロックスポーツ少年団大会
期 日：平成 19 年 8 月 20 日 (日) ～22 日 (火) 2泊3日
会 場：東京都 BumB 東京スポーツ文化館
参加者：指導者 1 名・団員 2 名
- (3) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会
出場なし
- (4) 全国スポーツ少年団剣道交流大会
第 29 回全国スポーツ少年団剣道交流大会
期 日：平成 19 年 3 月 27 日 (火) ～29 日 (木)
会 場：岡山県 岡山県体育館 (桃太郎アリーナ)
参加者：8 名
- (5) 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会
第 4 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会
期 日：平成 19 年 3 月 26 日 (月) ～29 日 (木) (女子)
会 場：長崎県 長崎県立総合体育館 他
参加チーム：岩槻ジュニアバレーボール (さいたま市)
- (6) 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 (7 月：神奈川県)
期日：平成 19 年 7 月 28 日 (金) ～30 日 (日)
※ 空手道のみ 7 月 28 日・29
会場：神奈川県 平塚市他
- | | | | |
|----|-------------|---------------|------------|
| ア) | 軟式野球 | 伊奈町 | 小針ヤンキーズ |
| イ) | バレーボール | 嵐山町 | 嵐山ガッツジュニア |
| ウ) | ミニバスケット (男) | 上尾市 | ガリバージュニア |
| | (女) | 川口市 | 川口慈林 M B C |
| エ) | バドミントン (選抜) | 埼玉県西部地区 | |
| オ) | 空手道 (選抜) | 埼玉県空手道スポーツ少年団 | |

7 平成 18 年度埼玉県スポーツ少年団登録状況

(1)	団 数	更新	1775 団	新規	38 団	合計	1813 団
(2)	指導者	更新	14,678 名	新規	3,065 名	合計	17,743 名
(3)	団 員	男子	48,031 名	女子	14,415 名	合計	62,446 名

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

IV スポーツ科学研究事業

目標：スポーツを医学的・科学的・コーチングの見地から研究し、競技力の向上と県民の健康の増進を図る。

1 アンチ・ドーピング啓発事業

期日	会場	研修会等
(1) 平成18年7月5日(水)	スポーツ研修センター	コーチ研修会
(2) 平成18年7月14日(金)	埼玉会館大ホール	インターハイ結団式
(3) 平成18年8月30日(水)	さいたま共済会館	国体監督会議
(4) 平成18年8月30日(水)	さいたま共済会館	少年競技外検査対象者
(5) 平成18年9月19日(火)	埼玉会館小ホール	国体結団式・壮行会
(6) 平成18年9月19日(火)	埼玉会館小ホール	少年競技外検査対象者

成果：県内トップレベルの指者及び選手に対して、アンチ・ドーピングの大切さとその対策について理解が深められた

2 国体選手の健康管理事業

(1) 体力測定及びメディカルチェック

- ア 期日：平成18年10月22日(日) 会場：県立スポーツ研修センター
参加者：水泳競技 12名
- イ 期日：平成18年11月19日(日) 会場：県立スポーツ研修センター
参加者：ソフトテニス競技 14名
- ウ 期日：平成18年12月17日(日) 会場：県立スポーツ研修センター
参加者：体操競技 15名

(2) 心理・栄養サポート事業の実施(メディカルチェック合同実施)

(3) 国民体育大会埼玉県選手候補の問診票によるメディカルチェックの実施

- ア 対象者：28競技 580名

3 国民体育大会帯同ドクター派遣

- (1) 本大会2名 冬季大会2名
- (2) 顧問医制度・トレーナー小委員会の医学サポートスタッフ派遣
(競技力向上事業：支援スタッフサポート事業)

4 研修会・講習会の開催

(1) 顧問医・トレーナー・競技研修会の開催

- ア 期日：平成18年9月12日(火) 会場：さいたま共済会館 参加者：120名
- イ 期日：平成19年2月17日(土) 会場：さいたま共済会館 参加者：90名
- 成果：国民体育大会におけるトレーナーの役割等が理解され、またレベルアップを図ることが出来た。

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

(2) コーチングセミナーの開催

期 日：平成 19 年 3 月 21 日（祝） 会 場：熊谷ラグビー場（会議室）

参加者：ラグビーフットボール競技 135 名

成 果：特に、心「フィジカルトレーニング」の重要性についてのないようであったが、多方面にわたるコーチングについても学習の機会となった。

(3) シンポジウム及びパネルディスカッション（埼玉県スポーツ指導者研修会）

(4) VICTORY SUMMIT（ヴィクトリー・サミット）の開催

期 日：平成 19 年 1 月 14 日（日） 会 場：さいたま共済会館

参加者：127 名

内 容：講演『プロサッカーから地域スポーツクラブまで』 塩野潔 氏

講演『レッズ優勝！選手強化と地域との連携』 藤口光紀 氏

成 果：スポーツにおけるドクターの必要性と関わり方への提言や、スポーツにおける地域やサポーターの重要性について講演いただき、とても有意義な講演となった。

(5) エンジョイ・スポーツセミナー

期 日：平成 18 年 7 月 17 日（日） 会 場：さいたま共済会館

参加者：286 名

内 容：講演『スポーツと栄養』 古旗照美 氏

講演『総合型地域スポーツクラブに入ろう』 榊原孝彦 氏

講演『モチベーションを高め目標を達成するための秘訣』 堀井学 氏

成 果：スポーツ栄養学では、参加者の日頃の活動にそった内容で解り易く、総合型地域スポーツクラブでは新たに関わる難しさに注目があつまり、また、自らの体験を通し指導者の一言の大切さを説かれ、とても有意義でスポーツに関わる心構えを学べた。

V 免税募金活動の充実

目標：自己財源を確保し、健全な運営を目指す。

(1) 平成 18 年度免税募金事業

寄付者(社)	25 名 4 団体	合計 29 件	免 税 募 金 額	1,100,000 円
			(うち団体指定 2 団体	250,000 円)
			免税取扱外募金 1 件	200,000 円

成 果：本協会並びに加盟団体の自己財源の確保を図った。

VI スポーツ振興くじ助成事業の推進

平成 18 年度 都道府県体育協会対象事業の募集なし。

VII 広報・普及活動事業

1 「スポーツ埼玉」誌の発刊（年1回：県内スポーツ関係機関等に配布）

2 ホームページの充実

- (1) 資料・様式等をダウンロードにて配布を実施。

3 キャッチフレーズの活用

- (1) キャッチフレーズ「横断幕」の配布。

ア 市町村体育協会及びスポーツ少年団種目別大会へ追加配布。

- (2) キャッチフレーズ「カーサンシェード」の作成・配布。

- (3) キャッチフレーズ「ゼロハンテープ」の作成・配布。

上記(2)(3)について市町村体育協会及びスポーツ少年団種別役員等への配布。

- (4) 封筒への刷り込み。

- (5) スポーツ少年団種目別大会等での明記（掲示）。

4 スポーツ少年団「スポーツともだち仲間たちの」発刊

- (1) No.12～No.14 の作成及び市町村本部及び各単位団へ配付。

5 埼玉県体育史第四巻の発刊

VIII 顕彰事業

1 埼玉県体育賞

期 日：平成19年3月17日（日） 会 場：さいたま共済会館ホール

受賞者総数 31団体（333名） 個人112名

(1) 功労者表彰

競技団体 40名 郡市体育協会 46名 功労賞総数 86名

(2) 優秀選手賞

国際大会 優勝 17名 準優勝 23名 三位 8名

全国大会 優勝 23団体（241名） 個人67名

準優勝 5団体（41名） 個人23名

三位 3団体（51名） 個人22名

(3) 栄光賞

栄光旗 埼玉栄高等学校男子バドミントン部

栄光楯 高橋 萌木子（埼玉栄高等学校：陸上競技）

古賀 淳也（早稲田大学：水泳）

山室 光史（埼玉栄高等学校：体操競技）

嵐田 義明（県立川越工業高等学校：自転車）

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

村山千夏 (埼玉県警察：剣道)
柳美穂 (県立桶川高等学校：ボウリング)

2 財団法人埼玉県体育協会体育優良児童生徒表彰

区分	男子	女子	合計 (学校数)
高等学校等	202名	173名	375名 (219校)
中学校	324名	327名	651名 (315校)
小学校	393名	387名	780名 (417校)
合計	919名	887名	1806名 (951校)

3 第61回国民体育大会表彰式

期日：平成18年11月10日(金) 会場：埼玉会館大ホール

成績：競技別天皇杯獲得団体 6競技団体

- ・埼玉県ハンドボール協会
- ・埼玉県バドミントン協会
- ・埼玉県ライフル射撃協会
- ・埼玉県銃剣道連盟
- ・埼玉県クレー射撃協会
- ・埼玉県ゴルフ協会

競技別皇后杯獲得団体 1競技団体

- ・埼玉県バドミントン協会

入賞者総数：797名

第1位	80名	第2位	95名	第3位	100名	第4位	41名
第5位	105名	第6位	26名	第7位	28名	第8位	24名

4 文部科学大臣生涯スポーツ功労者表彰 (所属団体)

本会推薦者

- 齋藤篤司氏 (坂戸市体育協会)
- 村山喜三江氏 (和光市体育協会)
- 新井秀男氏 (財団法人熊谷市市体育協会)
- 関口善行氏 (深谷市体育協会)
- 利根川亨氏 (飯能市体育協会 (NPO 法人取得前))

日本スポーツ少年団推薦者

- 藤沼貞夫氏 (埼玉県スポーツ少年団)
- 佐藤高弘氏 (埼玉県スポーツ少年団)

5 国民体育大会功労賞特別表彰 (関係競技)

- 菅原寛氏 (埼玉県体操協会)

6 日本スポーツ少年団顕彰 (所属少年団)

- 金澤秀一氏 (豊春ジャガーズ：春日部市)
- 秋山和雄氏 (与野西北サッカースポーツ少年団：さいたま市)
- 浅野隆司氏 (原市場スポーツ少年団：飯能市)

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

- 北 田 憲 一 氏 (所沢育星JVCスポーツ少年団：所沢市)
渡 辺 功 氏 (狭山ライオンズスポーツ少年団：狭山市)
新 田 詔七郎 氏 (青葉ジュニアバドミントンスポーツ少年団：久喜市)
鈴 木 紀 美 氏 (スポーツ少年団鳩山柔道会：鳩山町)
岡 野 慎 一 氏 (大宮空手道スポーツ少年団：さいたま市)
中 原 正 典 氏 (ふくじゅ草スポーツ少年団ラグビースクール：三郷市)
馬 場 典 成 氏 (アズマフットボールクラブ：朝霞市)
大 塚 昭 氏 (吹上ジュニアテニス：鴻巣市)
神 谷 裕 之 氏 (朝霞台ユニオンズ：朝霞市)
関 根 剛 氏 (宮代剣友会：宮代町)
- ・北本市スポーツ少年団 ・蓮田市スポーツ少年団 ・大利根町スポーツ少年団

7 埼玉県スポーツ少年団表彰

南部：13市町 39名 西部：15市町 21名
北部：8市町 12名 東部：11市町 22名 合計：47市町 94名

IX 諸会議

1 理事会

第一回 平成18年5月19日(金) 埼玉県自治会館4階ホール
第二回 平成18年9月25日(月) 埼玉県自治会館4階ホール
第三回 平成18年12月19日(火) 埼玉県自治会館4階ホール
第四回 平成19年3月15日(木) 埼玉県自治会館4階ホール

2 評議員会

第一回 平成18年5月30日(火) 埼玉県自治会館4階ホール
第二回 平成19年3月26日(月) 埼玉県自治会館4階ホール

3 郡市町村連絡会議

東部地区 平成18年6月22日(木) 越谷市民球場会議室
西部地区 平成18年6月28日(水) ふじみの市サービスセンター
南部地区 平成18年6月26日(月) さいたま共済会館
北部地区 平成18年6月29日(木) 深谷市生涯学習センター

4 専門員会

(1) 総務委員会

第一回 平成18年9月25日(月) 埼玉県体育協会会議室
第二回 平成18年12月19日(火) 埼玉県体育協会会議室
第三回 平成19年3月15日(木) 埼玉県体育協会会議室

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

(2) 普及委員会

平成 19 年 1 月 19 日 (金) 県立スポーツ研修センター

(3) 選手強化対策委員会

ア 強化対策委員会

第一回 平成 18 年 5 月 9 日 (火) 県立スポーツ研修センター

第二回 平成 19 年 1 月 19 日 (金) 県立スポーツ研修センター

イ 常任委員会

第一回 平成 18 年 4 月 14 日 (金) 埼玉県自治会館 305 会議室

第二回 平成 18 年 12 月 19 日 (火) 埼玉県自治会館 4 階ホール

ウ 競技力向上事業関係諸会議

・ 競技団体合同説明会

平成 18 年 5 月 9 日 (火) 県立スポーツ研修センター

・ 選手強化対策特別委員会

平成 18 年 5 月 31 日 (水) さいたま共済会館 501・502 会議室

・ 第 61 回国民体育大会埼玉県選手団選考・監督会議 (本大会)

平成 18 年 8 月 30 日 (水) 県立スポーツ研修センター

・ 第 62 回国民体育大会競技別強化対策会議

平成 18 年 11 月 20 日 (月) ・ 21 日 (火) ・ 22 日 (水)

県立スポーツ研修センター

(5) スポーツ少年団

ア 本部員会

第一回 平成 18 年 5 月 22 日 (月) 埼玉県自治会館

第二回 平成 18 年 7 月 11 日 (火) 埼玉県自治会館

第三回 平成 18 年 10 月 17 日 (火) 埼玉県県民健康センター

第四回 平成 18 年 12 月 9 日 (土) 埼玉県県民健康センター

第五回 平成 19 年 3 月 15 日 (月) 埼玉県自治会館

イ 代議員会

平成 18 年 6 月 3 日 (土) さいたま共済会館

ウ ブロック本部長会議

東 部：平成 19 年 1 月 19 日 (日) 久喜市中央公民館

西 部：平成 18 年 11 月 10 日 (金) 飯能市役所

南 部：平成 18 年 11 月 18 日 (土) ベルアンジュ上尾

北 部：平成 18 年 11 月 26 日 (日) ホテルサンルート熊谷

エ 市町村事務担当者会議

平成 19 年 3 月 20 日 (火) 県立スポーツ研修センター

オ スポーツ少年団専門委員会等

・ 正副本部長会議 8 回

・ 事業委員会 7 回

・ 育成広報委員会 9 回

・ リーダー育成委員会 3 回

・ 指導者委員会 6 回

・ 種目別代表者会議 2 回

・ 指導者協議会全体委員会 4 回

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

(6) スポーツ科学委員会関係

ア スポーツ科学委員会総会

第一回 平成 18 年 6 月 22 日 (木)

第二回 平成 19 年 3 月 22 日 (木)

イ スポーツ科学委員会

第一回 平成 18 年 5 月 25 日 (木)

第二回 平成 19 年 3 月 7 日 (木)

ウ スポーツ科学専門部会

・委員長・正副委員長会議 2 回 ・コーチング専門部会 3 回

・科学専門部会 2 回 ・医学専門部会 1 回

・アンチ・ドーピング小委員会 3 回

(7) 加盟審査委員会

第一回 平成 18 年 12 月 9 日 (火) 埼玉県体育協会会議室

第二回 平成 19 年 3 月 8 日 (木) 埼玉県体育協会会議室

5 その他の会議

(1) スポーツ安全協会関東ブロック会議

期 日：平成 18 年 11 月 1 日 (水) ～2 日 (木) 会 場：ラフレさいたま

平成 18 年度 免税募金寄付者 (社) 一覧【順不同：敬称略】

- ・ 株式会社瑞穂 ・ 廣川貞夫 ・ 坂井順司 ・ 森正博 ・ 豊田幹雄
- ・ 小澤通春 ・ 鈴木康昭 ・ 藤沼貞夫 ・ 程塚孝作 ・ 横山隆
- ・ 中田茂男 ・ 宮内孝知 ・ 久保田金治 ・ 高橋豊明 ・ 長谷見輝生
- ・ 櫻井勝利 ・ 鴻巣市体育協会 ・ 島田宏二 ・ 鈴木征 ・ 星野正美
- ・ 井下洪平 ・ 島野直 ・ 三戸一嘉 ・ 篠崎光 ・ 道祖土正喜
- ・ 社団法人埼玉県建設業協会 ・ 埼玉県信用金庫協会

○ 一般寄付 ○

- ・ 西武ライオンズ選手会 ・ 埼玉県町村会

以上 25 名 4 団体 合計 29 件

ご協力ありがとうございました。